



堀籠 至さん

(清万)

北には雄大な浅間山、南には八ヶ岳に蓼科山、風光明媚なこの地は素晴らしい環境だと思えます。まさに「浅間山に抱かれた高原の町」御代田町だと感じています。

小さな頃から毎日見上げてきた雄大な姿と、時に脅威ともなる噴火を目の当たりにしてきたこの山は地域の住民の心に浸透し、そのふところに抱かれて暮らしているのだと実感いたします。

そんな我が御代田町でも、今年の2月14日からの大雪は未だにその傷跡を多く残して、復旧には大変な労力や資金がかかったと聞いています。



365歳野球が中止になってしまった事は大変残念でしたが、心配していた町営グラウンドの復旧工事も夏までには整備が終わり、恒例の益野球は開催されました。清万区も参加し、残念ながら1回戦での敗退でしたが、強豪の塩野区との対戦でも堂々とした試合になったことはとても頼もしいかぎりだと思えました。

この春と夏の二回の野球大会に集まる仲間が増えて、昨年の365歳野球大会では優勝する事ができました。これは区民をあげての喜びで、祝勝会も大変に賑やかに盛り上がりました。

話は変わりますが、町のスポーツ少年団のカーリングに息子が参加させていたのだいた事もあって、試合観戦を楽しんでいたのですが、自分でもやってみようと仲間を募って始めたところ、これが見事にはまって、今年で4シーズン目になります。

男子のSC軽井沢クラブ、女子の中部電力など県内チームの活躍も楽しみですし、自分でプレーする楽しさは、地元施設があるからできる事であり、年齢を重ねても続けられる生涯スポーツとして楽しんで続けていきたいと思えます。今年には更にステップアップしていくよう、仲間とともに上位を目指して頑張ってプレーを楽しんでいきたいと思えます。



自分は、良い心と悪い心を持つている。時々良い心より悪い心の方が強くなる時がある。人間の持つつかいかな心身を悩ます煩惱の働きが出る。自分の過去に、鬼となった時期があった。誰もが犯罪者になる可能性を持つている。

で自然とみんなが順番を決めたり、物を分けあった。子ども同士の遊びから人の痛みや、人を思いやる心が養われたような気がする。人間は、時には鬼にも悪魔にもなれる。己を自制できない未熟な若者が育っている。痛い思いをしないとわからない日本人が増えている。痛い思いを充分してきた自分には一生の宝物、黒い帯がある。

徳吉 正博



自分の育った時代は、大きな子どもから、小さな子どもまで一緒になって遊んだ。大きな子は、小さな子を守り、けんかやいじめが始まると誰かが止めに入った。貧しい時代ではあったが、みんな仲良く暗くなるまで外で遊んでいた。悪い事や、いたずらをすると近くの大人が思いきり叱ってもくれたし、遊んでもくれた。そんな生活の中